

白石市立白川中学校
平成31年1月7日
第12号
文責 教頭

学校だより

笑顔 

校訓

進取…自らまず動く
敬愛…思いやりの心
活力…活力を生み出す

特別な3ヶ月間の始まりです！ ～学校集会・校長挨拶より抜粋～

新年明けましておめでとうございます。

平成31年を迎えました。ついに白川中にとって特別な年、特別な3ヶ月間が始まりました。年頭にあたり、皆さんはどんな気持ち、どんな心構えでいるでしょうか。

今日から3月までは、2学期の、そして1年間のまとめの時期となります。

1・2年生は、4月からの進級、そして東中生と一緒に生活することを意識しながら、今日からの生活をしっかり送ってほしいと思います。3年生は、これまで以上に意識を高め、志望校への合格と伝統ある白川中の卒業に向け、しっかり歩んでください。3年生の進路実現と卒業への取組を応援していますので頑張ってください。

また、2月16日には、白川中の閉校式と閉校記念式典が開催されます。これまで保護者や地域の皆様を中心に1年以上かけて準備してきました。当日は多くのお客様がいらっしゃいます。72年の伝統を受け継いだ皆さんが主役です。その日に向けてしっかり準備しましょう。

結びに、平成31年が、皆さんにとって大きく飛躍する年になることを期待し挨拶いたします。

平成31年1月7日 白石市立白川中学校長 杉山 孝一



～各学年代表による新年の抱負～



- 今年の抱負は3つあります。1つ目は、積極的に運動することです。去年のマラソン活動を通して少しずつ走ることができるようになり、もっと走ろうと思うようになったからです。
- 2つ目は部活動です。ボレーやバックが段々できるようになり、できないことがあってもコツコツ積み重ねれば上手くできることを学びました。今年も技術を磨いていきたいと思えます。
- 3つ目は、時間の使い方をしっかり考えて、学習や色々な活動に取り組むことです。今年時間は心に余裕をもって行動できるようにしたいです。 【1年 武田 翔悟くん】
- 冬休み前に頑張った朝マラソンでは、走破周ランキングで1位になり自信がついたので、他のことも目標をもって前向きに取り組もうと思います。4月からは環境がガラリと変わります。東中と統合することに不安はあるけれど、交流学习を重ねるうちに少しずつ慣れてきました。どんなに環境が変わっても白川中で学んだことを大切にしたいです。さらに、僕たちは3年生という立場になります。自分の将来についてよく考え、高校を選び、励まし合いながら勉強を頑張っていきたいです。 【2年 大野 吾慧くん】
- 私が頑張りたいことは、受験に向けた取組です。勉強では数学と英語を重点的に取り組んできました。特に苦手な数学では、過去の入試問題を何度も解き直したり、ワークなどで苦手な分野を一から復習したりすることで、以前解けなかった問題も解けるようになりました。受験の日まで曖昧なところがなくなるように復習したいです。生活面では、どんな状況にも対応できる力を身に付けたいと思えます。面接に向けて普段からの姿勢や日頃の態度に気を付けて生活していきたいと思えます。 【3年 菅野結衣羽さん】

授業参観アンケート紹介（抜粋）

12月15日に行われたフリー参観・親子行事等のアンケートを紹介します。ご協力ありがとうございました。

1. 「親の学びのプログラム」について

- 現在高1の生徒も同じ授業を受けました。妊婦の大変さを少し分かってくれたかな？自分が大人になって少しでも支えてあげられるといいなと思います。
- 胎児の成長をサクランボやレモン、メロンなどの大きさ、重さにたとえての話はとても分かりやすく、疑似体験を通しての授業は、将来に役立つと思いました。
- 奇跡で世の中は動いていると思いました。生まれた瞬間の感動を、あの日の想いが蘇り、命をつないでいく奇跡を学びました。唯一無二。親もたくさん学びました。



2. 親子交流行事について

- 本格中華まんがお手軽に、自分たちで作ることができました。寒い日でホカホカ中華まんがより一層美味しかったです。家庭でも親子一緒に作ってみようと思います。
- 中華まん作り楽しかったです。中学校では初の親子交流行事で少し不安もありましたが、全学年一緒に賑やかで良かったです。とても美味しくいただきました。
- 子ども達の包丁の使い方や手先の器用さが見られ、少しハラハラ、ドキドキでしたが肉まんも美味しく、とても楽しかったです。



3. その他

- 一日で様々な体験ができて、子ども達にとっても充実した日だったのではないかと思います。この学校、この人数だからこそできることを、残りの生活の中でもかみしめて過ごしてもらいたいです。
- 授業を参観して、生徒一人一人が先生の話聞き、前を向いて静かに取り組んでいるので、これが白川中生だと改めて思いました。

*15日の朝の段階で技専校の門が閉まっていたとのご指摘をいただきました。ご不便をおかけいたしまして申し訳ございませんでした。

*12月14日までに回答していただいた学校評価については、次回の学校便りで結果をご報告します。

白川中物語④ ～東京オリンピック聖火ランナー・随走について～

1964年（昭和39年）東京オリンピックが開催されました。宮城県では2,000人の走者が86区間、148.7kmを駆け抜けて聖火をつないだそうです。聖火は9月28日に県庁を出発し、名取市や大河原町、白石市を巡り、福島県につなげられました。聖火リレーの随走者として、当時の白川中ソフトテニス部の男女4人も選ばれました。そのお一人が先日来校し、貴重なお話を伺いました。その方は9月28日、白石一小の正門から、長町・中町・本町を通り、旧4号線の新館の広場まで走ったそうです。当時の東京オリンピックと白川中生のつながりを懐かしく思い出される方も多いのではないのでしょうか。



平成31年が始まりました。教職員一同、生徒、保護者の皆様、地域の皆様とともに一日一日を大切に歩んでまいります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

